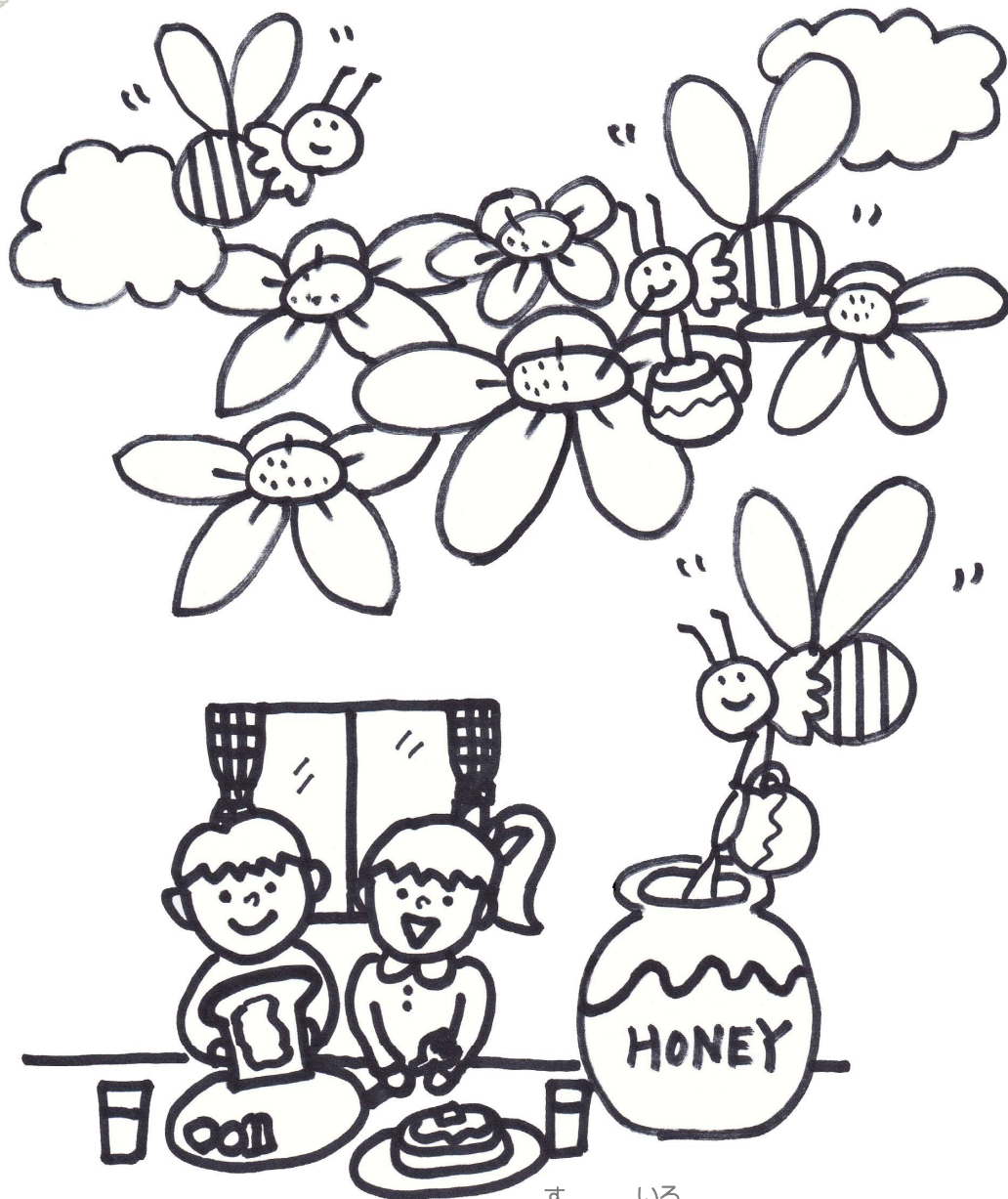


ほとけの子だより



す いろ
好きな色にぬってみてね!



ゆっくりたのしんでね。
むずかしかったら、おとなの人と
いっしょによんでみてね!

ほとけさまのお話 はなし

はしらもとじゅん

柱本 惇

きょうときょうくしょうねんれんめいぶくりじちやう
(京都教区少年連盟副理事長)

「人に迷惑をかけてはいけません」と習ったことはありますか？

私が小学生の頃、家族や学校の先生からよく言われていた言葉でした。多分、人一倍誰かに迷惑をかけるような子どもだったのでしょうか…。でも、大人になって社会に出てからもよく耳にする言葉でしたし、実際人に迷惑をかけることは良いことではありません。



「ルールを守らず道に停めている車のせいで通行できずに迷惑した」「電車の中で大きな声で話をするのは迷惑だ」

考えてみるとたくさん迷惑が私たちの日常にはあります。

しかし、私は本当に誰

にも迷惑をかけずに生きていられるでしょうか。知らず知らずのうちに、誰かに迷惑をかけてはいないでしょうか。



実は「迷惑」とは元々は仏教の言葉です。さとりもともとの反対で「迷めいわくい惑ごまごまう」ということ。さとりとは真実しんじつのことであり、迷い惑まようとは真実まどが分からないということです。

自分の行動が思いもよらず誰かの迷惑になってしまっている。でも自分はそれに気づいていない。ということがあ
るのではないのでしょうか。私もちょっとコンビニに行くだけ…とお店の前に車を止めたり、友達といると楽しくなって、電車の中ということをおぼ
れ

大きな声で話してしまったりすることがあります。もちろん「迷惑をかけよう」とは思わないけれど、自分の行動が誰かの迷惑めいわくになってしま
うことはあるのではないのでしょうか。

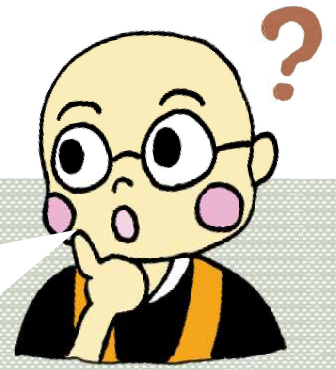
そう思うと「人に迷惑をかけてはいけません」ではなく「人に迷惑をかけてしまう私」と知ることの方が大切ではないのでしょうか。

それを知っていれば、自分の行動に気をつけたり、反省したりすることができるからです。私たちは「お互いに迷惑を
かけてしまうことがある」と思いながら日々過ごしていくことが大切だと思
います。

いつもご迷惑をおかけしております。なもあみだぶつ。



クイズ！親鸞聖人



しょうどしんしゅう ひら しんらんしょうにん たんじょう ことし
 浄土真宗を開かれた親鸞聖人がご誕生されて今年の
 がつ 21 にち ねん
 5月21日でちょうど850年になったんだよ！そして、
 にしほんがんじ よろこ ほうよう せいだい おこな
 て、西本願寺でお慶びの法要が盛大に行われたよ！
 こんかい しんらんしょうにん ようい
 そこで、今回は、親鸞聖人についてクイズを用意し
 ました。それぞれ三つの中から答えを選んでね。

Q1

しんらんしょうにん ねん きょうと
 親鸞聖人は、1173年に京都
 ひの さと ろ
 日野の里でお生まれになりました。では日野の里とは今の
 ひの さと いま
 京都市の何区でしょうか？



- ① しもぎょうく 下京区
- ② さきょうく 左京区
- ③ ふしみく 伏見区

Q2

しんらんしょうにん なんさい ぼう
 親鸞聖人は何歳でお坊さん
 になられたでしょうか？



- ① 9さい
- ② 29さい
- ③ 89さい

Q3

ぼう
 お坊さんになってから20
 ねん なが きかん しゅぎょう
 年という長い期間修行され
 しゅぎょう やま
 ました。では修行したお山
 なん やま
 は何という山でしょうか？



- ① ふじさん 富士山
- ② ひえいざん 比叡山
- ③ エベレスト

Q4

さい とき しょうがいそんけい
 29歳の時、生涯尊敬するお
 ししょう であ
 師匠さんに会いました。
 ししょう だれ
 そのお師匠さんとは誰で
 しょうか？



- ① いっきゅう 一休さん
- ② ガンジー
- ③ ほうねんしょうにん 法然聖人

あみださまのおすがた

あみださまは、^{すべて} ^{ひと} 全ての人をすくってく
ださる^{ほとけ} 仏さまです。その^{とくちよう} 特徴は、その
お姿^{すがた}にもあらわれているよ。



- 細い目 -

^{ほそめ} とても細い目をされてい
^{たいせつ} ^{あたたか} ます。大切なものを温か
^め ^{みまも} い目で見守ってくださ
^{ほとけ} っている仏さまです。

- 大きな耳 -

^{かた} ^{とど} ^{なが} 肩に届きそうなくらい長く
^{おお} ^{みみ} ^も て大きな耳をお持ちです。
^{ちい} ^{こえ} ^{こえ} 小さな声、声になっていな
^{こころ} ^{こえ} ^き ^の ^が い「心の声」も聞き逃さな
^{ほとけ} い仏さまです。

- 指の水かき -

^{てあし} ^{ゆび} ^{あいだ} 手足の指の間にアヒルの
^{みず} ような水かきがついてい
^{わたし} ます。私たちをこぼさず
^{すく} ^{ぜったい} 救って、絶対にすてない
^{ほとけ} 仏さまです。

- 長いうで -

^た 立ってのばすとひざくらい
^{とど} ^{なが} まで届くほどとても長いう
^も ^{わたし} でをお持ちです。私がどこ
^て にいようとともその手で、た
すけてくださいます。



(㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬㊭㊮㊯) ㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹
(㊺㊻㊼㊽㊾) ㊿㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹
㊺㊻㊼㊽㊾㊿ ㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹
(㊺㊻㊼㊽㊾㊿) ㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹

「あみださま」のイラスト

【今号の担当】
法話：柱本惲（明覚寺）
クイズ親鸞聖人：乾淳（聞信寺）
あみださまのおすがた：龍谷大学伝道部

発行日：2023（令和5）年7月
発行者：浄土真宗本願寺派京都教区少年連盟

問合せ先：京都教区教務所少年連盟担当
〒600-8334
京都市下京区油小路通花屋町上ル西若松町249
TEL(075)371-6981 FAX(075)361-1522